

**進路指導部会**

**提案資料**

**SNSや行事を活用したキャリア教育の工夫  
(実践報告)**





# 1 主題

## SNSや行事を活用したキャリア教育の工夫

### 2 主題設定の理由

#### (1) 学習指導要領から

平成29年3月に告示された中学校学習指導要領総則には以下のように「キャリア教育」という言葉を用いてその充実を図ることが明示された。

(中学校)

第1章 総則 第4節 生徒の発達の支援 1 生徒の発達を支える指導の充実

(3) 生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。その中で、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路選択できるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと

とある。これを受けて本校ではキャリア教育は教育活動全体で取り組むことを確認している。上記、総則第4節1の(3)からキャリア教育を目的とした新たな学習活動を設定するのではなく既存の学習活動にキャリア教育の視点を取り入れ指導を行うようにしている。キャリア教育の視点とはキャリア教育で養う「基礎的汎用能力」について指導する側が明確に意識して指導にあたるとともに、生徒にも理解させたいという学習を行うよう取り組んでいる。

#### (2) 社会・学校事情から

- ①、コロナ禍の学校生活の変化で従来行われていた学習形態がとれない状況にある。本校でも職場体験学習や職業人に学ぶ会・卒業生に学ぶ会等、全校で話を聞くスタイルや外部から複数人材を呼び学習するスタイルが実施できず中止になっている。このような中、代替となる実施可能なスタイルを模索する必要があった。
- ②、ギガスクール構想の推進により、本校を含め印西市内の小中学校の生徒に一人一台のタブレットが配られSNSの環境が整えられた。
- ③、職場の現状を考えた「働き方改革」が表明され推進される中、職場状況がはたして改善されているのか疑問である。事務的な事は軽減されている部分もあるが、多様化する生徒への個々の対応、コロナ禍での生徒への対応、濃厚接触者・陽性・体調不良による職員の欠員等、本校の職員をみる限りギリギリの状態を毎日をのりきり疲弊している。このような状態で生徒の前に笑顔で立てるのだろうか？職員の負担の軽減を考慮した。

### (3) 生徒の実態から

本校は昭和50年六合中と宗像中の2校が統合し印旛村立印旛中学校として開校。平成22年、印旛村・印西市・本埜村の合併により印西市立印旛中学校となった。学区は六合小・旧宗像小・いには野小・平賀小学区の17地域からなる。非常に広く、遠くは8km以上となる遠距通学者もいる。生徒数は336名でその8割がいには野小学区の子供である。北総鉄道の印旛日医大駅の前に立地し、現在も本校周辺の開発は進められている。

生徒はとても素直で多くの生徒は学習や行事にも積極的に参加している。一方で集団に適応できずに教室で生活できない生徒が各学年に数名みられ、放課後登校や別教室での個別対応に職員があたっている。

ギガスクール構想の推進により、印西市は生徒に一人一台のクロームブックが支給されている。本校でも各教科・領域で活用場面が増え、ほとんどの生徒は教師からの簡単な説明で活用できるレベルにある。

進路の面では近年の傾向は100%進学を希望し、上級学校の進学をみると将来を具体的にみずえ専門学科を選ぶ生徒は少なく、大学進学を考えて進路先を選ぶ生徒が多い。また、生徒は将来の夢や希望は持っているながらもそれに向かい努力していこうという部分に弱さを感じる。このことは実際に社会で生活をしている大人がどのように努力し、生活の中での喜びや苦勞・生き方を生徒に伝えていく機会を持つ必要を感じる。

以上(1)(2)(3)のことから、効率よくキャリア教育を行う工夫として本主題を設定し実践することとした。

## 3 研究仮説

### 実践1の仮説

- ① SNSを活用することにより効率よく基礎的汎用能力を養う場が設定できるであろう

### 実践2の仮説

- ① 既存している行事にキャリア教育の場面を設定する事により教育活動にゆとりをもたらせ、且つ、一定の教育効果もあげることができるであろう

## 4 実践内容

### 実践1

### SNSを活用して行った卒業生に学ぶ会

#### (1) キャリア教育の視点

- ・自己理解・自己管理能力の育成
- ・課題対応能力の育成
- ・キャリアプランニング能力の育成

#### (2) 目的

受検をおえた3年生の体験を知ることにより、自らの将来を意識させ、進路選択に対する考えを深めるとともに、現在の学校生活を振り返る機会とする。

#### (3) 概要

3年生

クロームブック（スプレッドシートやForm）を活用し、在校生からの質問への答えやメッセージを作成する。

1, 2年生

3年生への質問や聞いてみたいこと考え、クロームブックへ入力する。3年生からの入力されたものを参考に、今後の生活や進路選択を考える。

#### (4) 指導計画

- 1 1, 2年から質問の収集（短学活・自宅） 資料1

期間 2/28～3/4

- 2 3年生へ質問の提示し、クロームブックで回答・メッセージの作成

（短学活・自宅） 資料2

期間 3/4～3/10

- 3 3年生の回答・メッセージのを使った指導（1時間）

実施 3/17 6校時

## (5) 主な内容

- 1 この一年間をどのように過ごしたか  
(受験勉強はいつ頃はじめたか？勉強の方法は？)
- 2 志望校を決めるときに大切にしたことは？
- 3 どんな検査を受けたのか
- 4 中学校生活ですべきだと思うことは何か？

## (6) 成果と課題

従来、卒業生に学ぶ会は代表生徒を選出し、在校生の前で話をするスタイルで行ってきた。今回は仮説1に基づきこのようなスタイルで実施した。成果と課題は以下のように考える。

### 成果

- ①今回在校生の質問に3年生全生徒に回答させたことにより、自分の進路への取り組みを振り返る機会ができた。(自己理解・課題対応能力) 資料2
- ②多くの在校生に進路に対する興味関心を高めるとともに、現在の生活改善を考えさせる機会となった。(キャリアプランニング能力) (課題対応能力) 資料3
- ③教師側としては3年生の入試後、卒業までの特別日課間を自宅学習の時間を活用することで有意義な指導を行う時間が生まれた。また、発表生徒との打ち合せや当日の準備の必要がなくなった。負担が軽減された。(働き方改革)

### 課題

- ①年度末に行うことで3年生側だけでなく在校生側も忙しく実践の検証がしっかりと取ることができなかった。
- ②今回の実践では在校生の質問の集約などSNSに関する操作や知識を持つ教員への負担が大きくなってしまったことは否めない。SNSに精通した職員を増やすとともに、職場内での仕事分担を念頭においた職員配置の必要性を感じる。

## 実践2

### 修学旅行宿泊旅館おかみの講話(既存する行事の活用)

#### (1) キャリア教育の視点

- ・課題対応能力
- ・キャリアプランニング能力
- ・人間関係形成・社会形成能力

#### (2) 目的

- ①社会で働く人の話を聞くことにより、自分の将来について考える機会とする。
- ②社会で働く人の喜びや苦勞から社会人として生き方やより良い人間関係について学ぶ機会とする。

#### (3) 概要

現3年生はコロナ渦の影響を受け、1年次の「職業人に学ぶ会」、2年次の職場体験学習を実施できなかった状況がある。進路・キャリア教育では重要な学習行事であり、なんとか代替にあたるものを模索していた中、旅行会社の情報から修学旅行時宿泊する旅館のおかみが浮上。二日目の夜に講話の時間を設定した。事前におかみにキャリア教育を含む講話を依頼した。

#### (4) 指導計画

- 1 おかみさんに質問してみたいことについて・クロームブックに入力(短学活・自宅)  
期間・・・5/9～5/20
- 2 生徒からの質問と講話の内容について依頼(教師) 5/30
- 3 当日(生徒を前後半にわけ実施) 6/12
- 4 旅館の人(おかみ)への手紙の作成(1時間) 6/17(総合) 資料4

#### (5) 内容

- 1, 旅館のおはなし
- 2, コロナ渦で何してたん?
- 3, 人生, 仕事のお話(キャリア形成)
- 4, 質疑応答

## (6) 成果と課題

### 成果

①多くの生徒がキャリア教育の4つの能力に係わる感想を残していた。

資料4

②お礼の手紙を指導する中で人間関係・社会形成能力に係わる指導をすることができ、他者に働きかける内容の文面が多くみられた。資料4

③行事の中に組み入れことにより、従来の「職業人に学ぶ会」の準備の労力より職員の負担は軽減された。(働き方改革)

### 課題

①1業種1個人の話に限定されてしまい、複数の業種にたずさわる人の話がきけない。

②今回は行事環境と人材がたまたま一致してたことにより実施できたが、継続的に実施していくためには宿泊先や人選の選定等新たな準備が必要になる。



# 資料編

# 資料1 - 1

受験を終えた3年生に聞いてみたいこと

【2年】

## 勉強について

- ・1日の勉強時間は？（学校の授業はのぞく）（平日・休日）（30）
- ・いつから受験に向けた勉強をし始めたか（9） ・どんな方法で勉強しているか。（8）
- ・受験勉強はどんな感じで進めたか、1年間どのような順に進めたか（細かく）（6）
- ・集中するやり方（5） ・どのようなことを中心に勉強したか（4）
- ・どうやったら効率よく勉強できるか（3）
- ・勉強の計画はどうやって立てたか。計画を立ててやっているか（2）
- ・数学や理科は、どの単元を重点的に勉強したらよいか
- ・1日何分以上勉強すれば良いなどという目標設定はしていたか。
- ・ワークなどを見るか、教科書を見るか、どちらが役にたつか。
- ・ノートは板書をうつすより、必要なことだけをまとめた方がよいか。
- ・受験勉強で1番意識していたことはありますか。 ・まず、どの教科から取り組んだ方がよいか。
- ・どんな参考書を使っていたか ・苦手な教科をどうやって頑張ったか
- ・徹夜で勉強することはありましたか。 ・ワークとかは何周くらいしたか。
- ・家で勉強できますか。 ・勉強するときに気をつけていること、工夫
- ・自己肯定力を上げる方法 ・模試はどのように対策していたか。
- ・夜何時まで勉強したか。 ・これまで勉強に対する不安はありましたか。

## 高校選び

- ・どうやって進路を決めたか、高校を決めたか（19） ・見学は何校くらい行ったか（3）
- ・いつから進路のことを考え始めたか。決定したのはいつか。（3）
- ・将来就きたい職業を考えて、高校を選んだんですか（2）
- ・高校を決めるのに、一番最初に相談したのは誰でしたか。
- ・進路を選ぶときに偏差値以外で大切にしたこと ・高校を選ぶときに一番気にしたことは何か？
- ・行きたい高校を希望できたか。 ・きれいな高校はあったか？
- ・進路選択において大切にすることは ・高校はどれくらいありましたか
- ・行きたい学校に行くために大事なことはなにか

## 当日・試験内容

- ・面接ではどんな質問がきたか（5） ・面接で気をつけることは何か（3）
- ・受験会場の雰囲気（4） ・面接はどんな感じか（2）
- ・条件作文、聞き取りテストなど、普段あまりやらない問題の対策はどうしていたか。
- ・テスト問題の出題傾向は？
- （思考力が試される問題や筆記が多かったか？教科書の基礎的な部分から出される問題が多かったか）
- ・受験の途中で何か問題が起きてしまったら、どのように対処すればよいか
- ・試験会場には、周りにどんな人がいたか。 ・テスト問題はどの学年の問題が多かったか

## 資料1 - 2

- ・問題はどれくらい難しかったか。
- ・自己表現はどのようにすれば良いのか
- ・推薦などで呼ばれても面接などがありますか。
- ・受験の前日は、どんな風に過ごしましたか。
- ・応用問題は結構ですか？

### 生活

- ・勉強中、どんな気分転換をしていたか。(3)
- ・勉強のモチベーションを上げるためにしていることは(2)
- ・受験するにあたって、何を大切に生活してきたか(2)
- ・受験前、日常生活で気をつけたことや生活習慣を変えたことはありましたか。
- ・睡眠時間は何時間まで減らせますか
- ・睡眠時間はどれくらいか。
- ・勉強と勉強以外の時間の比は。
- ・勉強以外は具体的に何をしていたか

### その他

- ・理想ではなく、実際に将来の夢を見つけたのはいつか？
- ・2年生のうちに、こうしておけば良かったと思うことはありますか
- ・「絶対受かる」という気持ちになるにはどうすれば良いか。
- ・受験のことで親とけんかしましたか
- ・受験中、困ったこと、辛かったことは何か。
- ・受験前、どうやって緊張をほぐしていたか。

### 【1年】

#### 勉強について

- ・1日の勉強時間はどのくらいか(17)
- ・いつ頃から受験勉強を始めたか(5)
- ・受験に向けての勉強方法を教えてほしい(14)
- ・受験勉強は、何を重点的に取り組んだのか。勉強する順番はあるか(3)
- ・毎日欠かさず勉強をしていたか。(2)
- ・効率の良い勉強方法は(2)
- ・勉強は大変か。
- ・英語や数学は、どうやって覚えればよいか。
- ・勉強と部活の両立は難しいか
- ・定期テストのときより勉強しますか。
- ・苦手な教科を中心にやったのか。
- ・漢字を覚える方法
- ・たくさんの試験範囲をどうやって復習したか。
- ・どうしたら勉強が続くか。

#### 高校選び

- ・どうやって高校を決めたか。(10)
- ・いつ頃これからの進路についてはっきりと決めたか。(2)
- ・志望校を決める際に、一番大切なことは何か。(2)
- ・自分の進路はどのようにして決めるのか(2)
- ・進路を決定するのにどのくらい時間がかかるか。
- ・どんな高校を選んだらいいか。
- ・進路についてとても悩んだか
- ・「今の自分よりも少し下の偏差値の高校に行って、好成绩や高順位をとる」と「ぎりぎり受かる高校にいて、成績や順位が真ん中もしくは下になってしまうの」どちらを選んだ方が、大学入試や将来的に良いか

## <受験に向けてのアドバイス>

Q 一日の勉強時間は？

A 平日：2, 3時間 休日：6時間

Q いつから受験に向けた勉強を始めたのか？

A 2年の春休みあたりから少しずつ受験に向けて勉強を始め、部活を引退した二学期あたりから本格的に受験勉強を始めました。

Q どんな方法で勉強しているのか？

A 間違えた問題はただ答えを書くだけでなく答えを求めるまでの過程を理解し、特に間違えた問題はその問題周辺の単元をしっかりと復習してより知識を深められるようにしました。また、社会や理科などの暗記系は寝る前に暗記ブックなどを読んで単語や年号を覚えました。

Q 受験勉強はどんな感じで進めた？

A まず一学期は1, 2年のワークなど基本問題を解いて基礎を固めるようにしました。二学期はやや難易度の高い応用問題を中心にひたすら問題を解きながら、その時点で学んだ3年の学習の復習をしました。そして三学期は入試に向けて過去の入試問題を繰り返し解き、二学期同様3年の学習の復習もしました。特に覚える内容が多かった公民を中心に復習をしました。

Q 集中するやり方は？

A 私の場合はあまり集中力がある方ではないので、いきなり長時間勉強しようとするのではなく短い休憩時間を何回か挟んで、効率の良い勉強を少なくとも設定した時間は勉強するようにしました。

Q どうやって進路を決めたか、高校を決めたか？

A 親や先生の意見を参考にしながら学力や部活動、通学距離を中心に選びました。また、学校見学や説明会で得た情報も参考にしました。

Q 見学は何校くらい行ったか？

A 私立1校、公立2校行きました。

Q いつから進路のことを考え始めたか、決定したのはいつ？

A 7月くらいに志望校を2, 3校に絞って二学期が終わるくらいには進路を決定しました。

## 資料1 - 3

### 当日・試験内容

- ・面接でどのようなことが聞かれるのか。(2)
- ・受検会場の雰囲気や受験生の様子(2)
- ・受験は難しかったか。
- ・受検会場はどこか
- ・試験はどんな感じで行ったか
- ・試験を終えたとき、どんな気持ちになったか。
- ・本当に直定規は使えないのか。(2)
- ・試験前日はどんな勉強をしていたか。(2)
- ・点数はどれくらいとれたら良いか
- ・受験当日までどのようなことを考えていたか
- ・応用問題は出るか

### 生活

- ・受験に向けて、どんな生活を送っていたか。(2)
- ・どんな生活リズムで過ごしていたか
- ・受験に備えて、生活で気をつけた方が良い事はあるか。
- ・勉強して疲れがたまってしまうので、睡眠時間は少しでもとった方がよいか
- ・ご飯は3食食べていたか。
- ・部活を引退して、どのような生活を送っていたか。

### その他

- ・一番緊張したのはいつか。(2)
- ・どんな気分転換をしていたか(2)
- ・今からやっておいた方が良い事がありますか。
- ・受験をするにあたって意識した方がよいこと
- ・進路や受験のことであらかじめ知っておいた方が良い事はあるか
- ・本当に疲れたときはどうしていたか。
- ・休日も家族とでかけたり、友達と遊んだりしませんでしたか。
- ・受験をするにあたって、先生や親にどのようなことを言われたか
- ・今試験を終えて、後悔はありますか
- ・受験の直前や前日は緊張したか。(2)
- ・3年生になるまでにしておいた方が良い事は何か。
- ・受験で緊張しないためにはどうすればよいか。
- ・どんな方法で勉強の集中力を高めていたか

## 1 勉強について

Q 一日の勉強時間はどのくらいか？

A 平日：3・4時間 休日：7・8時間

勉強時間は人それぞれだと思うので自分にあった計画をたて、自分が毎日続ける事ができる勉強時間を見つけることが大切だと思います。

Q いつ頃から受験勉強を始めたか？

A 3年生になったあたりから始めました。

より本格的に勉強をし始めたのは部活を引退してからです。部活を引退してからけじめを付け勉強を頑張れるかをやった人とやってない人の差がでてくると思います。いつから勉強を始めるという決まりはないので取り組みは早ければ早いほうがいいと思います。

Q 勉強方法は？

A 過去問などを繰り返し解き自分の苦手な教科や単元を知り、色々なパターンの問題練習をしました。

基礎問題を徹底的にやり、過去問を解く際は時間を測って回答するなど、より本番に近い環境で勉強するのがおすすめです。

Q 受験勉強はどのような順に進めたか？

A 大きく言うと1・2年の総復習→苦手教科の対策→過去問演習という順で1年間進めました。

## 2 高校選び

Q どうやって高校を決めたか？

A 色々な高校の説明会に行ったり、実際に通っている知り合いの人の話を聞いたりして決めました。

どこの高校に行こうか迷っている人はできるだけたくさん高校の説明会に行っておいたほうが選択肢が広がりいいと思います。

Q受験会場の雰囲気は？

A会場についてからしばらくはとても張り詰めた空気で緊張感が更に高まりますが、時間が経つにつれ緊張が和らいできて、後半は控室で話したりして少しリラックスした状態で試験を受けられました。

Q勉強中、どんな気分転換をしていた？

Aタイマーを設定してYou Tubeを見たり、少し外で体を動かしたりしていました。また、親や友達と話したりすることも良い気分転換だと思います。

Q受験するにあたって、何を大切に生活してきた？

Aしっかり規則正しい生活を送ることを大切にしました。特に睡眠をよくとることを心がけていました。例えば、夜遅くまで勉強しても睡眠時間が短くなるので次の日の授業に集中できなくなって授業の内容が疎かになってしまうので、睡眠はしっかりとっていました。

Q志望校を決める際に、いちばん大切なことは何？

A自分がその高校に入学してからのことをよく考えることだと思います。例えば、学力の高い高校に行けば勉強についていけず毎日勉強に追われてしまい、家から遠い高校に行けば通学時間が長くなるため毎日早起きをしざるを得なくなります。ですから、志望校を決めるときはその場しのぎではなく、高校に入学してからの生活や、自分がどうしたいかをしっかり考えることが大切だと思います。

受験勉強において質の良い勉強をすることはとても大切なことだと思います。私は、塾に行っていなく、勉強時間も多いわけではありませんでしたが、その分自分なりに試行錯誤して、自分に合う勉強法を見つけて受験勉強を進めることができ、自分の希望する高校に合格することができました。また、3年間の成績も受験においてとても大切なものになります。成績が良いほど合格する可能性は高くなり、自分の選べる進路もより多くなると思います。そして、長い期間に渡る受験勉強は身体的にも精神的にも本当に大変だと思いますが、一日一日を大切に、自分の望む進路に向けて頑張ってください。

Q いつ頃進路を進路を決定したか。

A 私立は夏休みくらいまでに決めていましたが、公立は受けようかずっと迷っていて私立の合格発表後に受けないという選択をしました。

私はぎりぎりになってしまいましたが志望校はできるだけ早めに決めたほうがいいと思います。志望校が決まることによって目標が設定でき、合格するためにはあと何が足りないのかを早めに知るによって対策が立てやすくなるからです。

Q 将来就きたい職業を考えて高校を選んだのか？

A 将来就きたい仕事はまだ考えていないため、この高校でならやりたいことを見つけられるかもというのが決め手の一つでした。

将来の夢がある人はその夢から逆算して進路を考えるというのもいいと思います。将来の夢がまだ決まっていないというような人は、将来の可能性を広げやすい進路を選ぶというのも一つの考えとしていいと思います。また、進学実績や部活、校風などから志望校を決めるという人もたくさんいるので将来の夢が決まっていないからといって焦る必要はありません。

### 3！アドバイス！

1年生の時期は長時間でなくてもいいので、毎日机に向かい自主学習をする習慣がつけられるようになるといいと思います。勉強が苦手な人は短くていいので毎日続けることのできる時間を自分で設定し勉強するというのがおすすめです。2年生では部活や行事と忙しくなり部活動と勉強の両立が難しくなってくる頃ですが勉強時間の確保が難しいからこそ予習・復習を徹底ししっかりと内容を理解することが大切になってくると思います。部活を引退し受験勉強が本格化する3年生の夏以降は、今まで部活に使っていた時間を勉強に置き換えるイメージで勉強時間を増やしていけるよう頑張ってください！



資料3

ひとこと記録

進路学習のとき3年生から  
 で、"もっと勉強しておけば  
 よかった"と書いてあったので  
 そのならないように平日は2時  
 休日は3時間勉強したい。  
 まず"は時間を増やしていきたい  
 good."

ひとこと記録

高校の決め方・勉強のしかたなどを  
 6時間目にして、勉強は平均3~4時  
 間くらいするのがベストなのだと分  
 かりました。休日は6時間くらいす  
 るのがベストとのこと。毎日定期  
 テストかと思えば、いかにやるべき

(3)ね、でも気分転換も上手にできるように

ていよ。

## 綿善旅館 おかみさん 皆様へ

1日目に綿善旅館に着いたときは暖かく迎えていただき、  
 いて第一印象がすごく良かったです。夕食が2回、朝食  
 が2回の計4回の食事はどの料理もすごくおいしくて、毎日  
 リと食べてしまいました。おみそ汁は、だしをとって作る作りに  
 ると聞き、味わって食べることに。2日目の夕食のデザートにアイ  
 スが、出てびっくりしました。すごくおいしかったです。

おかみさんのお話では、将来に役立つようなことを多く  
 お話していただいたので、すごくよかったです。おかみさん  
 がおっしゃっていた「生きるために大切なことは、「多くの選択肢  
 の中から、選ぶことができるか」だ、ということは、簡単そうでは  
 すごく難しいことだとわかった。おかみさんの人生の中で  
 「辛いことがあったけれど」「辛いことは、修行」というキ  
 ーワードを思い浮かべて、乗りこえてきたと言っていたことが、  
 一番心に響きました。お話の中で、おかみさんのお聲に對  
 しての思いが、あつくと感動しました。私たちが新幹線  
 で帰る前に京都駅まで見送りに来てくださったとき、すごく心  
 が暖かくなりました。修学旅行のお宿が綿善旅館で、  
 館ですごくよかったです。本当にありがとうございました。



印西市マスコットキャラクター

「いんさい熊」

印西市立印旛中学校 3年 組 名前【 】

## 綿善旅館 おかみさん 皆様へ

泊めさせてくれてありがとうございました。ものすごく居心地がよくて安心して寝れました。それに安心してすごしました。京都には1回来たことかあるけど海がある北の方に行って今日とはまったく別の雰囲気です。ときわめかたも全然違って同じ京都でもこんなに違うか〜と思っておもしろかったです。2日目のおかみのお話しは京都の勉強にもなりました。人生の勉強。そればかりとどうにかとか、夢を実現するためとか、いろんな場面を見つけておくためにがんばりました。一般客では聞けない貴重なお時間をさいっていただきほんまありがとうございました。また行けたらいいとしてもあの7町の雰囲気も好きなのでまた行けたらいい〜と思いました。お時間いっぱいあけは、関東にも来てみてくださーい！ 駅のホ-4にもお見送りに来てくださって本当にありがとうございました。



印西市マスコットキャラクター  
「いんざい熊」

## 綿善旅館 おかみさん 皆様へ

：旅館に行く道のリや帰るときに道に並んで車のかたに人などを  
 して下さりありがとうございます。食事の際もみんなの準備  
 片付けの際 私達の準備が終わっていないくても声かけ、準備を  
 進めて下さり本当にありがとうございます。

おかみさんの高校の話聞いて自分の目標をしっかりと話すことが  
 大切だとわかりました。今まで叶うかもわからずに目標を人に話す  
 ことに抵抗がありましたが、これからほとんど人話になっていくと  
 思いました。自分の仕事一つ一つにこだわりを持っているのが  
 すごく伝わって自分もしっかり自分の意志を持ち行動してい  
 たいと思いました。そしていつ自分が死んでも後悔のないように行動  
 していきたいと思いました。自分だけでなく周りにもいい影響を  
 与えたいからわかるように、普段から感謝を伝えていきま  
 いたいと思います。辛いことがあってもありにえられるように頑張り  
 たいと思いました。あ、という間の45分でした。ありがとうございます。  
 最後に忙しい中時間をとって忘れ物を届けてくださり本当にあり  
 ありがとうございます。京都での3日間特別で  
 最高のものになりました。ありがとうございます。



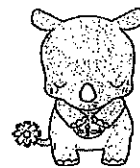
印西市マスコットキャラクター

「いんざい」

印西市立印旛中学校 3年 組 名前【 】

## 綿善旅館 おかみさん 皆様へ

「おかみさん」という職業にとってはあまり良くないのでしょうか？そこが気になりました。おかみさんがいろいろ話して下さったせいで印象に残ったのは、「おかみさん」と書くことについてのお話と、おかみさんが子宮外妊娠した時のお話と、「人生はつまづいた」という言葉です。人は人生は一度きりだから何か価値のあるものにならなくては行けない。と生きることに對してしつかりなき、向かいなきと生きてくような身がまえるような感じだったので、その「つまづいた」ということを聞いて、もっと楽しく生きていけたら、と肩の荷がおりたような感じになりました。おかみさんの話を聞いてからなにか生きやすくなりました。本当にありがとうございます。話は変わりますが、最後にホームまで見送って下さった時、「よく話を聞いていたな〜って子供が覚えてる」と聞いた時、とてもうれしかったです。長々と書いてしまて申し訳ありませんでした。最後に1つだけ、綿善旅館の皆様のおかげで、とても楽しい3日間をすごせました！本当に、本当にありがとうございます！



印西市マスコットキャラクター

「いんざい君」

印西市立印旛中学校 3年 組 名前【

=

】



